（様式1）

施設指定管理者モニタリングチェックシート

施　設　名	**豊明市大宮児童館**
指定管理者名	株式会社セリオ
指　定　期　間	令和7年　4月　1日　～　令和12年　3月　31日
所　管　課	子育て支援課

区分	項　　目	令和7年度　前半期（4～9月期）				令和7年度　後半期（10～3月期）			
		指定管理者	指定管理者　備考	市	市　備考	指定管理者	指定管理者　備考	市	市　備考
①業務の履行確認	【施設全般の管理運営に関する業務】								
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A	遵守している	A		A	遵守している	A	児童クラブとの利用実態の違いに配慮し、柔軟かつ適切な施設運営を行っている
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A	遵守している	A		A	遵守している	A	
	人員体制が明確になっており、常に体制が整っているか	S	事務局も常にサポートに入れる体制を整えている	A		S	事務局も常にサポートに入れる体制を整えている	S	本部職員による応援体制を確保し、安定した運営を維持している
	適切な有資格者を常に配置しているか	A	常に配置できている	A		A	常に配置できている	A	
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	S	行事の活動計画等も詳細に記録を残している	A		S	行事の活動計画等も詳細に記録を残している	A	
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A	各種マニュアルを整備し、掲示や周知をしている	A	警察と連携した不審者対応訓練を実施	A	各種マニュアルを整備し、掲示や周知をしている	A	
	【利用者に関する業務】								
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A	増加傾向にある	S	前年度比＋39.2%（全館平均では＋20.5%）	A	増加傾向にある	S	行事や交流促進の取組により、利用者数の増加に繋がっている。前年度比＋32.7%（全館平均＋2%）
	中高生の利用確保に向けた取組がなされているか	A	インスタグラムでイベントを周知	A		A	インスタグラムでイベントを周知	A	
	【保守点検並びに清掃業務等】								
	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A	毎朝自主点検を実施	A		A	毎朝自主点検を実施	A	
	定期的に清掃、除草、剪定等は行われているか	A	毎日清掃・除草を実施	A		A	剪定を職員で実施	A	
	異常、不具合等を発見した場合、速やかに市に報告しているか	A	JMさんに相談・報告をしている	A		A	JMさんに相談・報告をしている	A	
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A	声かけを行っている	A		A	シェード設置工事のアナウンスを適切に行った	A	掲示や声掛けを行い、利用者の安全確保に努めている
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等は行われているか	A	その都度JMさんに相談し、対応している	A		A	その都度JMさんに相談し、対応している	A	
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A	共同システム内で承認・閲覧している	A		A	共同システム内で承認・閲覧している	A	
	備品は適切に管理しているか	A	新しく購入した備品はないが、管理は適切である	A		A	新しく購入した備品はないが、管理は適切である	A	
	消耗品等は適切に補充しているか	A	館独自で購入したり、社内で一括購入したり適切に補充している	S	図書購入費用8万円を予算確保し、館長の裁量で図書の入替を行っている	A	館独自で購入したり、社内で一括購入したり適切に補充している	A	
	【事業の実施に関する業務】								
	指定事業は適切に実施されたか	A	登録制は廃止し、適切に実施している	A		A	登録制は廃止し、適切に実施している	A	太鼓クラブ等を継続実施し、達成感や交流機会の創出に努めている
	自主事業は適切に実施されたか	S	多くのイベントを実施した 運営状況報告書にて報告済	A		S	多くのイベントを実施した。運営状況報告書にて報告済	S	父親の参加も得られる事業を実施し、参加層の拡大につなげている
	【個人情報の取り扱い】								
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A	社内のマニュアルや規定に沿って適切に管理している	A		A	社内のマニュアルや規定に沿って適切に管理している	A	
	【①に係る指定管理者の自己評価】	今年度より、児童の思いを大切にしながら主体性を育む取り組みとして、月に1回のこども会議を実施している。児童から出た意見を職員会議でも共有し、夏祭りの企画準備をしたり、外遊びをしたいという子ども達の意見を取り入れたりしている。申込制の和太鼓クラブも発足し、地域のボランティアさんにご協力いただいて日本の伝統に親しんでいる。9月には社内全体の取り組みとして、初めてワールドクリーンアップデイに参加し、地域の清掃活動にも取り組んだ。また、放課後子ども教室と連携し、合同企画としてスポーツ鬼ごっこを実施した。子どもたちにも好評で、継続していきたい活動になっている。				幼児・小学生ともに来館者数が増えている。幼児では、母親同士のコミュニティができ、常連となって交流を楽しんでいる方が多かった。小学生も友達との交流を求めて毎日来館する児童が多かった。クリスマス会やハロウィンなどの大きなイベントでは特に来館者が多く、引き続き広報活動に力を入れていきたい。樹木の剪定については業者による回数が減った分、職員で協力して剪定を行った。シェード設置工事でしばらく館庭が使用できなかったが、館内掲示や利用者さんへの声掛けをし、安全に留意した。			
	【①に係る施設所管課の評価】	シフト調整で人員確保が困難な状況にある中で、児童館業務と放課後こども教室業務との間での職員が支援し合う工夫により安定した運営を維持している。利用者数も前年度比39%増となっており、特に幼児・小学生の利用拡大は取組の成果を示している。図書の計画的な入替や季節に応じた推薦図書の展示、警察と連携した不審者対応訓練の実施、危険箇所に関する積極的な声掛け・注意喚起など、満足度が高く安心して利用できる環境が作られている。		区分評価	A	児童クラブ利用者と児童館利用者それぞれの利用実態に配慮した柔軟な運営を行うとともに、館庭の整備工事期間中には掲示や声掛けによる安全確保を徹底するなど、適切な施設管理が行われている。また、運動遊びの実施に加え、新設した太鼓クラブの活動を定着させるとともに、地域文化に触れる自主事業や保護者向け講座を展開し、利用者の多様なニーズに対応している。さらに、お抹茶会やおこしもの作りでは父親の参加も得られ、保護者の参加層の広がりにつながる取組として評価できる。加えて、人員不足時には本部職員が応援に入る体制を整え、安定した運営を維持しており、業務は適切に履行されていると評価できる。	区分評価	A

区分	項目	令和7年度 前半期（4～9月期）				令和7年度 後半期（10～3月期）			
		指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考	指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考
②サービスの質の評価	【施設の運営状況に関する事項】								
	窓口対応は適切に行われているか	A	玄関での受入れ・見送りを徹底し、丁寧に対応している	A		A	玄関での受入れ・見送りを徹底し、丁寧に対応している	S	利用者に寄り添った丁寧な対応により交流促進を図っている
	アンケート結果等に基づき満足度向上に向けた取組がなされているか	A	子ども達の要望が多かった遊びを日々の活動に取り入れ楽しんでいる	S	こども会議を通じて子どもの意見を吸い上げている	A	児童からリクエストのあった本やコミック、外遊び用玩具を購入した	S	子ども会議を通じて利用者意見を運営に反映している
	苦情や要望等に対して迅速にかつ適切に対応しているか	A	迅速かつ適切に対応した	S	配慮が必要な利用者に対して丁寧な対応をとっている	A	迅速かつ適切に対応した	S	利用者に寄り添い、市と連携しながら適切な対応を行っている
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A	事故や大きな怪我は発生していないが、発生した場合は速やかに報告する	A		A	事故や大きな怪我は発生していないが、発生した場合は速やかに報告する	A	支援が必要な事案について速やかに市へ相談し連携している
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A	毎日丁寧に清掃をしている	A		A	毎日丁寧に清掃をしている	A	
	モニタリングレポートの評価結果に基づき改善策を実施しているか	A	毎朝の不審物チェックをリスト化・苦情記録の追記を実施	A		A	中高生の居場所を意識したインスタでの発信を実施	A	
	実施された自主事業等は満足できる内容であったか	S	夏祭り、ハロウィン、ママのお楽しみ講座等、参加された利用者さんから喜びのお声を頂きやりがいを感じた	A		S	お抹茶会やおこしもの作りは幼児さんやお父さんの参加も多数あり、地域の伝統や文化を知る良い機会となった	S	父親の参加も得られる事業を実施し、参加層の拡大につなげている
	子どもへの性暴力に対する措置がとられているか	A	相談等はないが、自治体や専門機関と連携して対応する 職員に対しては不適切指導根絶のためのチェックを実施	A		A	相談等はないが、自治体や専門機関と連携して対応する。職員への業務通達の改定も行った	A	職員周知や日常点検を実施し、安全確保に努めている
	【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】								
	外部への広報活動・取組報告など定期的に更新しているか	S	フォトページ・インスタグラムの2つの運用をしている	A		S	フォトページ・インスタグラムの2つの運用をしている	A	HPやSNSを活用し、継続的な情報発信を行っている
	職員の資質向上に関する取組がなされているか	S	社内研修を計画的・定期的に実施している	A		S	社内研修を計画的・定期的に実施している	A	エリアミーティングを通じて事例共有や資質向上を図っている
	地域や関係団体との交流・連携を意識した取組がなされているか	S	地域の方や地域大学と連携した活動を取り入れている	S	地域連携、近隣大学との連携を図っている	S	地域の方や地域大学と連携した活動を取り入れている	S	大学や学校、地域人材と連携し多様な事業を展開している
	情報・セキュリティに対する取組がなされているか	S	情報セキュリティ研修・理解度チェックを実施している	A		S	情報セキュリティ研修・理解度チェックを実施している	A	
	【②に係る指定管理者の自己評価】	夏休みに幼児さんの保護者からの要望があったが、児童クラブの児童への指導や館内掲示等迅速に対応をした。職員間で情報共有も行い、対応に差が出ないよう配慮している。社内で実施した人権研修は大宮職員の受講率100%であり、不適切指導根絶のためのチェックも導入している。毎朝の館内点検では盗撮カメラなどの不審物がないかの項目も追加し、慎重に確認している。 自主事業では、地域の方のお力をお借りし盆踊りや和太鼓等を体験しており、児童も楽しみながら伝統文化に親しんでいる。				前半期には特定の幼児さんの保護者からの要望が多数あったが、職員の丁寧な対応と、支援の必要な保護者として市に繋いだことで後半期は落ち着いていた。 自主事業のお抹茶会やおこしもの作りは幼児さんやお父さんの参加もあり、おこしものを初めて知ったというお子さんもいた。地域の伝統や文化を知る良い機会となった。ヘルマンハープの演奏会では、ボランティアさんの演奏と歌を涙を流しながら聞いているお母さん方もおり、親子で心温まる時間をもつことができ、好評であった。			
	【②に係る施設所管課の評価】	こども会議を通じて子どもの意見を丁寧に吸い上げている。その中で出た外遊びの要望を受けて、隣接小学校と調整し週一回の校庭利用を実現させたり、日常会話の中でも子どもの声を大切にするなど、利用者主体の運営を実践している。子どもへの不適切な関わりを防ぐため、職員の対応を相互に確認する体制を整えている。また、個別の配慮が必要な家庭に対しては、職員間で対応を共有し、周囲の理解を得ながら関係性を継続させ、相談機関との繋がりも実現した。さらに、近隣の大学の実習を積極的に受け入れ、人材育成と地域連携にも寄与している。	区分評価	A	一人で来館する保護者への積極的な声掛けや利用者同士の交流支援、長年勤務する職員による丁寧な対応により、利用者との信頼関係が築かれている。また、子ども会議を新設し、児童の意見を事業や備品整備、ルールづくりに反映することで、主体性を尊重した運営を実践している。さらに、利用者一人ひとりの状況に応じた丁寧な支援を行うとともに、市や関係機関と連携しながら適切な対応につなげている点は高く評価できる。加えて、教育大学との継続的な連携や地域ボランティアによる演奏会の実施、父親の参加を促した伝統文化事業など、多様な地域資源を活用した質の高い事業展開が図られており、利用者満足度の向上に大きく寄与していると評価できる。	区分評価	A
③サービス提供の安定性の確認	事業収支と収支計画書に大きな乖離はないか	A	大きな乖離はない	A		A	大きな乖離はない	A	
	必要な帳簿は備えられているか	A	事務局・管理課・経理課で連携して管理している	A		A	事務局・管理課・経理課で連携して管理している	A	
	経理処理は適正に行われているか	A	事務局・管理課・経理課で連携して管理している	A		A	事務局・管理課・経理課で連携して管理している	A	
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A	雇用管理・勤怠管理・経費精算など社内で統一したシステムを導入しており、労務費の削減に努めている。	A		A	雇用管理・勤怠管理・経費精算など社内で統一したシステムを導入しており、労務費の削減に努めている	S	経費削減と業務効率化を意識した運営に取り組んでいる
	団体の経営状況が的確に把握・分析されているか	A	毎月の収支報告とともに把握・分析している	A		A	毎月の収支報告とともに把握・分析している	A	
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A	安定している	A		A	安定している	A	
	【③に係る指定管理者の自己評価】	団体の経営状況は安定しており、事業収支も概ね計画通りである。帳簿や経理処理に関しては、大宮児童館・東海本部・放課後管理課・経理課で連携をして適切に管理をしており、監査も受けている。雇用管理・勤怠管理・経費精算など社内で統一したシステムを導入しており、労務費の削減に努めている。10月より、ペイルドカードを導入予定である。				団体の経営状況は安定しており、事業収支も概ね計画通りである。 帳簿や経理処理に関しては、大宮児童館・東海本部・放課後管理課・経理課で連携をして適切に管理をしている。 10月より、ペイルドカードを導入し、現金の取り扱いの縮小・ペーパーレス化を進め、労務費の削減に努めている。			
	【③に係る施設所管課の評価】	事業収支と事業計画に大きな隔たりはなく、経理処理等も適正に実施されている。	区分評価	A		ペイルドカードの導入により現金取扱いを縮小し、会計事務の効率化と適正な管理体制の確保に努めている。また、ペーパーレス化の推進や労務負担の軽減を図るなど、業務の効率化に継続的に取り組んでいる。さらに、備品購入に際しては中古品を活用するなど経費節減を意識した運営が行われており、限られた財源を有効活用しながら安定的なサービス提供体制の維持に努めている点は評価できる。	区分評価	A

【項目評価】

Ｓ（優　良）　：　協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。

Ａ（良　好）　：　協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。

Ｂ（課題あり）：　協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。

Ｃ（要改善）　：　協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

【区分評価】

Ｓ（優　良）　：　項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。

Ａ（良　好）　：　項目評価が全てA以上。

Ｂ（課題あり）：　項目評価にBがある。

Ｃ（要改善）　：　項目評価にCがある。